

事務事業 No./名 称	■サービス部門 生推-03		川喜多映画記念館管理運営事業				
	□支援部門						
主管課	文化推進課	関連課					
分野名	文化						
目標 (目標値)	歴史を継承し、文化を創造するまち						
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人			
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数	22,220人					
運営資源 状 況	決算値(千円)	34,449	5,890				
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	34,449	5,890				
	人員配置数	0.6	1.0				
	人 件 費(千円)	5,290	9,593				
	協 働 の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	39,739	15,483				
	市民1人当 りの経費(円)	224	88				
	対象者1人 当りの経費(円)	1,788	—				
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
施設整備完了及び運営準備	◎	目標値	施設整備完了及び 運営準備	来場者を1日あたり60 人、年間15,600人	来場者数を1日あたり70 人、年間18,200人	来場者数を1日あたり80 人、年間20,800人	
		実績値	完了済	来場者を1日あたり75 人、年間22,220人			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △模範い ×後退							

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性
川喜多映画記念館管理運営事業	34,449千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	指定管理者制度により川喜多映画記念館の管理運営を実施。		
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	・平成22年4月に開館する鎌倉市川喜多映画記念館の効率的な運営体制の確立と鎌倉の新たな文化発信の拠点としての質の高い事業展開の推進が求められる。 ・未完了となっている庭園の整備方針を具体化する。			
課題解決のための取組	・平成22年4月に鎌倉市川喜多映画記念館が開館し、鎌倉の新たな文化発信の拠点として指定管理者による質の高い映画の上映会、企画展、講演を実施した。 ・指定管理者と庭園の整備について検討した。			
未解決の課題	指定管理者、庁内各課と連携を図り、庭園整備の検討、具体化する。			
今後の方針	・施設の管理運営を適切に行う。 ・庭園整備を具体化する。 ・指定管理者と連携し、鎌倉の新たな文化発信の拠点として実施事業の充実とさらなる入場者の増加を図る。			
今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了
課長名	青山陽子			

[illegible]